

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2018年5月25日設定）
運用方針	主に投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券へ分散投資を行います。 投資対象とする投資信託証券は、それぞれ全世界の株式市場および投資適格債券市場の代表的な指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。 各資産の基本配分は、株式15%、債券85%とします。なお、投資適格債券への投資にあたっては、原則として実質組入外貨建資産の対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 外国為替予約取引を行うことができます。外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。株式への直接投資は行いません。デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

## 運用報告書(全体版)

# 楽天・インデックス・ バランス(DC年金)

## 第1期

決算日：2019年4月15日

### 受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

## ■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は単位未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

## 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
(設 定 日) 2018年5月25日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 12
1期(2019年4月15日)	10,256	0	2.6	105.9	829

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注3) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

## 当期中の基準価額の推移

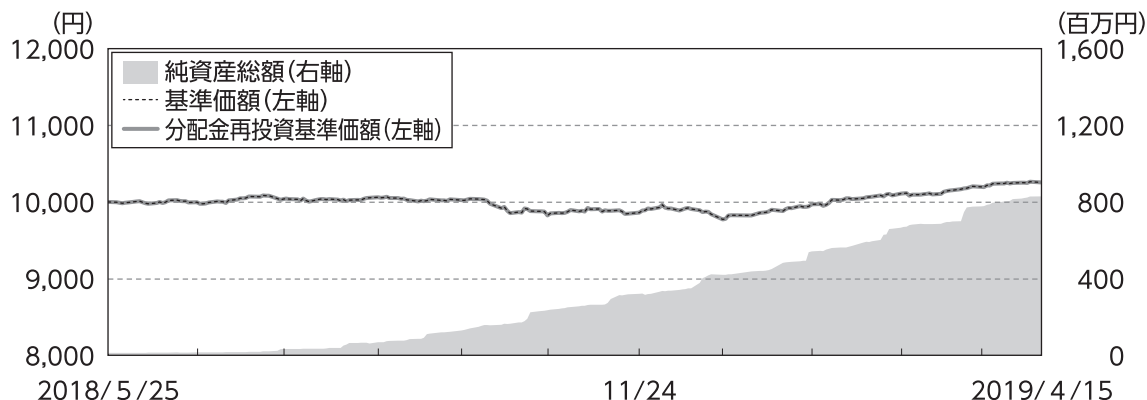
年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(設 定 日) 2018年 5月25日	円 10,000	% —	% —
5月末	9,990	△0.1	99.4
6月末	9,992	△0.1	98.9
7月末	10,016	0.2	99.1
8月末	10,051	0.5	100.0
9月末	10,041	0.4	104.4
10月末	9,859	△1.4	101.0
11月末	9,907	△0.9	102.6
12月末	9,828	△1.7	102.1
2019年 1月末	9,985	△0.2	100.1
2月末	10,083	0.8	100.0
3月末	10,238	2.4	100.2
(期 末) 2019年 4月15日	10,256	2.6	105.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注2) 設定日の基準価額には当初設定価額を用いています。

## 当期中の運用経過と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：10,256円(既払分配金0円)

騰落率：2.6%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、上場投資信託証券(ETF)および投資信託証券(以下、総称して「投資先ファンド」といいます。)への投資を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券に分散投資を行っており、基準価額は投資先ファンドの価格変動の影響を受けます。また、保有する外貨建て資産の一部について為替ヘッジを行っていないため、為替相場の影響も受けます。

当期は、全世界の株式に投資するETFと投資適格債券に投資する投資信託証券がともに上昇し、基準価額の主な押し上げ要因となりました。通貨別(除く円)で最もエクスポージャーの高い米ドルが対円で期初比から小幅な動きとなったこともあり、為替要因からの影響は相対的に限られました。

## ■投資環境

当期のグローバル株式市場は値動きの大きい不安定な時期を経たものの、米国が牽引するかたちで上昇しました。期初から2018年9月頃までは、良好な米国経済指標や企業決算が株価の支援材料となった一方で、米国政府の強硬な通商政策に対する警戒などが重しとなり、方向感に欠ける展開となりました。2018年10-12月には、米中貿易摩擦やグローバルな景気減速などに対する懸念を背景に大きく調整する局面もありましたが、2019年に入ると、主要国中央銀行のハト派姿勢(利上げに慎重な姿勢)や米中通商交渉の進展に対する期待感などに加え、米国企業決算の底堅い内容も株式市場の支援材料となり、反発に転じました。国別・地域別では、相対的に良好な企業決算やFRB(米連邦準備制度理事会)のハト派姿勢の鮮明化を背景に米国が上昇した一方、中国経済の減速などが嫌気され、ユーロ圏や日本は上値の重い展開となりました。新興国は、米国の利上げや米ドル高などを背景に期前半は軟調な展開となりましたが、FRBのハト派化や米長期金利の低下を受けて、その後は反発に転じました。為替市場では、ユーロ圏や中国の景気鈍化を受けて米国ファンダメンタルズの相対的な強さが際立つかたちとなり、米国ドルがユーロや円などの主要先進国通貨に対して強含む展開となりました。新興国通貨はトルコリラ急落の影響などを受けて2018年8月にかけて対米ドルで大きく調整しましたが、その後は米FRBがハト派に転じたことや米長期金利の低下を背景に底堅い展開となりました。

当期のグローバル投資適格債券市場は上昇しました。期前半は、良好な米国経済指標やFRBの追加利上げ観測などを背景に米長期金利が上昇(債券価格は下落)基調となり、それに追随するかたちで欧州や日本の長期金利も上昇し、債券市場は上値の重い展開となりました。しかし、2018年11月以降は米中貿易摩擦やグローバルな景気減速に対する懸念などを背景に、株式市場が大きく調整し、主要中央銀行がハト派姿勢を鮮明化するなか、主要国の長期金利は低下に転じ、債券市場は堅調な展開となりました。また、米国では債券利回りが低下する過程で、長短金利差(長短スプレッド)が縮小し、満期まで5年未満の短中期ゾーンでは短期利回りが中期利回りを上回るいわゆる逆イールドの状態が見られました。歴史的に、逆イールドは景気後退に先立って発生することが多いため、一部では米国の景気後退を懸念する見方が拡大し、米国の債券利回りを一段と引き下げる要因となりました。社債市場では、株式市場が大きく調整した2018年10-12月にクレジット・スプレッド(国債利回りとの差)の拡大(クレジット・スプレッドの拡大は社債価格の下押し要因)が見られましたが、2019年に入るとクレジット・スプレッドは縮小に転じ、概ね期初の水準から横ばい圏で期末を迎えました。

## ■当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含むグローバルの株式および投資適格債券に分散投資(各資産の基本配分は株式15%、債券85%)を行い、投資適格債券部分については原則として為替ヘッジを行っています。当期は、概ね基本配分に沿うかたちで投資先ファンドへの組入比率を高位に維持しました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## ■分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期	
	2018年5月25日～2019年4月15日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		(—)
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		266

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## ■今後の運用方針

基本配分に沿った投資先ファンドへの組入比率を高位に維持する方針です。また、投資適格債券への投資にあたっては、原則として実質組入外貨建資産の対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

# 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2018年5月25日～2019年4月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	6円	0.060%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,999円です。
(投信会社)	(2)	(0.020)	・ 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(2)	(0.020)	・ 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.020)	・ 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.030	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(3)	(0.030)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.120	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(一)	(一)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.020)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(10)	(0.100)	・ 印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	21	0.210	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

## 売買および取引の状況

### ■投資信託証券

		当 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国 内	バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー ー バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド ー インスティテューショナル円ヘッジシェア	千口	千円	千口	千円
		73.70133	741,240	0.93136	9,300
	小 計	73.70133	741,240	0.93136	9,300
外 国	米 国	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF	16.154	1,153	0.41	29
	小 計	16.154	1,153	0.41	29

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### 利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

### 自社による当ファンドの設定・解約状況

当初設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 12	百万円 12	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

(注) 単位未満は切捨て。



## 組入資産の明細

### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	単位数又は口数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー －バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド －インスティテューショナル円ヘッジシェア	72.76997	745,088	89.9
合 計	口 数 ・ 金 額	72.76997	745,088
	銘 柄 数 <比 率>	1	<89.9%>

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	単位数又は口数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	千口	千米ドル	千円	%
バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF	15.744	1,184	132,631	16.0
合 計	口 数 ・ 金 額	15.744	132,631	
	銘 柄 数 <比 率>	1	<16.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 証 券	877,720	99.6
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	3,862	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	881,582	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=112.01円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(125,894千円)の投資信託財産総額(881,582千円)に対する比率は、14.3%です。

# 資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年4月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	888,325,115円
コール・ローン等	3,862,128
未 収 入 金	6,742,400
投資信託受益証券	877,720,587
(B) 負 債	59,216,211
未 払 金	57,324,185
未 払 解 約 金	1,460,624
未 払 信 託 報 酬	141,506
そ の 他 未 払 費 用	289,896
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	829,108,904
元 本	808,434,382
次 期 繰 越 損 益 金	20,674,522
(D) 受 益 権 総 口 数	808,434,382口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,256円

(注) 設定元本額 12,000,000円  
 期中追加設定元本額 866,805,235円  
 期中一部解約元本額 70,370,853円

## ■損益の状況

(自2018年5月25日 至2019年4月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	889,092円
受 取 配 当 金	923,071
受 取 利 息	333
支 払 利 息	△34,312
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	20,055,528
売 買 益	20,702,633
売 買 損	△647,105
(C) 信 託 報 酬 等	△518,106
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	20,426,514
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	248,008
(配 当 等 相 当 額)	(1,156,216)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△908,208)
(F) 合 計 (D + E)	20,674,522
(G) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	20,674,522
追 加 信 託 差 損 益 金	248,008
(配 当 等 相 当 額)	(1,156,216)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△908,208)
分 配 準 備 積 立 金	20,426,514
繰 越 損 益 金	0

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。  
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### <分配金の計算過程>

項 目	当 期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	867,124円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	19,559,390円
(C) 収益調整金額	1,156,216円
(D) 分配準備積立金額	—円
(E) 分配対象収益額 (A + B + C + D)	21,582,730円
(F) 期末残存口数	808,434,382口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E / F × 10,000)	266.96円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	—円
(I) 収益分配金額 (F × H / 10,000)	—円

## お知らせ

該当事項はありません。

## ■組入ファンドの概要

以下は、『楽天・インデックス・バランス(DC年金)』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当期末において入手できる直近の情報を掲げております。

ファンド名	運用会社又は管理会社	決算日
バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF	ザ・バンガード・グループ・インク	2018年10月31日
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー －バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド －インスティテューショナル円ヘッジシェア	バンガード・グループ(アイルランド) リミテッド	2018年12月31日

## 1. バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 会 社	ザ・バンガード・グループ・インク
実質的な主要投資対象	全世界の株式
運 用 の 基 本 方 針	FTSEグローバル・オールキャップ・インデックスに連動する投資成果を目指す
管 理 報 酬 等 (年)	0.09% <sup>(※)</sup>

※2019年2月26日付で、0.10%から0.09%へ変更となりました。

# 1. バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF

## ■ 損益計算書

(2018年10月31日に終了する計算期間)

	Year Ended October 31, 2018
	(\$000)
<b>Investment Income</b>	
<b>Income</b>	
Dividends <sup>1,2</sup>	379,901
Interest <sup>2</sup>	1,036
Securities Lending—Net	5,105
<b>Total Income</b>	<b>386,042</b>
<b>Expenses</b>	
The Vanguard Group	
Investment Advisory Services	2,412
Management and Administrative—Investor Shares	2,082
Management and Administrative—ETF Shares	6,392
Management and Administrative—Institutional Shares	1,335
Marketing and Distribution—Investor Shares	343
Marketing and Distribution—ETF Shares	595
Marketing and Distribution—Institutional Shares	82
Custodian Fees	1,993
Auditing Fees	43
Shareholders' Reports and Proxy—Investor Shares	23
Shareholders' Reports and Proxy—ETF Shares	262
Shareholders' Reports and Proxy—Institutional Shares	3
Trustees' Fees and Expenses	9
<b>Total Expenses</b>	<b>15,574</b>
<b>Net Investment Income</b>	<b>370,468</b>
<b>Realized Net Gain (Loss)</b>	
Investment Securities Sold <sup>2,3</sup>	439,686
Futures Contracts	(3,058)
Forward Currency Contracts	(288)
Foreign Currencies	(2,080)
<b>Realized Net Gain (Loss)</b>	<b>434,260</b>
<b>Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)</b>	
Investment Securities <sup>2</sup>	(1,019,547)
Futures Contracts	(8,173)
Forward Currency Contracts	199
Foreign Currencies	(81)
<b>Change in Unrealized Appreciation (Depreciation)</b>	<b>(1,027,602)</b>
<b>Net Increase (Decrease) in Net Assets Resulting from Operations</b>	<b>(222,874)</b>

1 Dividends are net of foreign withholding taxes of \$22,221,000.

2 Interest income, realized net gain (loss), and change in unrealized appreciation (depreciation) from affiliated companies of the fund were \$912,000, (\$31,000), and \$2,000, respectively.

3 Includes \$473,959,000 of net gain (loss) resulting from in-kind redemptions; such gain (loss) is not taxable to the fund.

# 1. バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF

## ■組入上位10銘柄

(2018年10月31日現在)

As of October 31, 2018

### Ten Largest Holdings (% of total net assets)

Apple Inc.	Computer Hardware	2.1%
Microsoft Corp.	Software	1.6
Alphabet Inc.	Internet	1.3
Amazon.com Inc.	Broadline Retailers	1.3
Berkshire Hathaway Inc.	Reinsurance	0.8
Johnson & Johnson	Pharmaceuticals	0.8
JPMorgan Chase & Co.	Banks	0.7
Facebook Inc.	Internet	0.7
Exxon Mobil Corp.	Integrated Oil & Gas	0.7
Royal Dutch Shell plc	Integrated Oil & Gas	0.5
Top Ten		10.5%

The holdings listed exclude any temporary cash investments and equity index products.

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	アイルランド籍／外国投資法人／円建／UCITS準拠
運用目的および 主な運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合浮動調整インデックスに連動する投資成果を目指します。</li> <li>・主に満期までの期間が1年超のインデックスに含まれる各国の政府債、政府関連債、社債および証券化された債券（指数提供会社の定義に準じる）を投資対象とします。</li> <li>・外貨建て資産については、原則、為替ヘッジにより為替リスクの影響を抑制します。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流動性の確保などを目的に、満期までの期間が1年未満の短期債券へ投資することがあります。</li> <li>・ただし、短期債券への投資にあたっては、格付機関ムーディーズ格付Prime1、S&amp;P格付A-1+を下回る短期債券への投資は純資産総額の10%以下とします。また、OECD諸国以外で上場あるいは取引される短期債券への投資は純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・集団投資スキームへの投資は純資産総額の10%以下とします。</li> </ul>
分配方針	分配は行いません。
申込手数料	ありません。
管理報酬	純資産総額に対して年0.15% その他費用として、投資信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料等が別に徴収される場合があります。
信託財産留保額	ありません。
スイング・ プライシング	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。
管理会社	バンガード・グループ（アイルランド）リミテッド
投資顧問会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス（アイルランド）リミテッド

## 2. バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー - バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド - インスティテューショナル円ヘッジシェア

当ファンド(楽天・インデックス・バランス(DC年金))の当期末において「バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー - バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド - インスティテューショナル円ヘッジシェア」は監査未了のため、記載すべき情報はございません。